

2. 地理・歴史

科目	地理A	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	帝国書院『高等学校 新地理A』 帝国書院「標準高等地図」	配当年次			2年次
授業のねらい・概要					
<ul style="list-style-type: none"> 日本を含む世界各地の生活環境の特色を理解する。 現代世界の地理的な課題を考察し、国際社会で生きていくための考え方を身につける。 					
授業の進め方					
授業内容に関するプリントを用意するので、そのプリントを中心に学習を進める。併せて地図の読図や作図、資料の読み取りなどの作業学習も行う。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	日本の地理（都道府県・農業）		中間	17
	5月	日本の地理（漁業・工業）			
	6月	地図と読図（地図図法・地形を知る）			
	7月	地図と読図（領土問題）		期末	
	8月	時差			
9月	世界地図（地域・地形の名称） 気候（風・気温・降水）			18	
後期	10月	気候（世界の気候区） 生活と環境（熱帯の生活）		中間	17
	11月	生活と環境（乾燥帯の生活・温帯の生活・冷帯の生活）			
	12月	世界の農業 村落と都市		期末	
	1月	地域を知る（中国・韓国）			
	2月	地域を知る（ヨーロッパ・アメリカ）			
評価の方法					
出席状況・授業態度・定期考查・授業プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
備考					
日本史Aとの選択必修					

科目	世界史A	単位数	2	区分	必修
教科書・教材	実教出版『新版 世界史A』	配当年次			3年次
授業のねらい・概要					
<ul style="list-style-type: none"> 近現代史を中心とする世界の歴史を我が国の歴史と関連させながら、世界の成り立ちを学ぶ。 現代世界における様々な問題の背景を、世界各地の歴史を通じて考える。 					
授業の進め方					
授業内容に関するプリントを用意するので、そのプリントを中心に学習を進める。併せて史料の読み取りや、年表の作成などの作業学習も行う。2年次の地理Aの授業で使用した地図帳を用意することが望ましい。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	紀年法・世界地理の復習と世界各地の古代史		中間	17
	5月	世界各地の中世史			
	6月	一体化に向かう世界と日本（近代ヨーロッパ）			
	7月	"（イスラム世界と明・清）		期末	
	8月	ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動（17～18世紀の世界）			
9月	"（19世紀の世界）			18	
後期	10月	現代世界のあゆみ（第一次世界大戦前後の世界）		中間	17
	11月	"（第二次世界大戦前後の世界）			
	12月	第二次世界大戦後の世界（冷戦・第三勢力の結集・世界の多極化）		期末	
	1月	"（冷戦の終結・冷戦後の世界）			
	2月	"（21世紀の世界）			
評価の方法					
出席状況・授業態度・定期考查・授業ノートと課題プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
備考					

科目	日本史A	単位数	2	区分	選択必修
教科書・教材	清水書院『高等学校 日本史A 最新版』	配当年次			4年次
授業のねらい・概要					
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開を世界史的視野に立ち、我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させて歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
授業の進め方					
授業内容に関するプリントを用意するので、そのプリントを中心に学習を進める。併せて史料の読み取りや年表の作成などの作業学習も行う。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	原始・古代		中間	17
	5月	奈良～平安時代			
	6月	平安～鎌倉時代			
	7月	"		期末	
	8月	鎌倉時代			
9月	室町時代			18	
後期	10月	戦国～安土・桃山時代		中間	17
	11月	江戸時代			
	12月	明治・大正時代		期末	
	1月	昭和～第二次世界大戦			
	2月	第二次世界大戦前後の日本の歩み、国際社会と日本			
評価の方法					
出席状況・授業態度・定期考查・授業ノートと課題プリントの提出状況等を総合的に判断する。					
備考					
地理Aとの選択必修					

3. 公民

科目	現代社会	単位数	2	区分	必履修
教科書・教材	実教出版 『最新 現代社会』			配当年次	1年次
授業のねらい・概要					
広い視野に立って現代の社会と人間についての理解を深め、現代社会の基本的な問題について主体的に考え、判断力を持った社会人となるよう、必要な能力と態度をもてるようにする。					
授業の進め方					
授業ごとにプリントを用意するので、説明をうけながら完成させる。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	青年期と自己形成（大衆社会・ネットとメディア・個人と社会生活・豊かさとは）		中間	17
	5月	経済分野（貨幣の役割・クレジットカードや電子マネー）			
	6月	"（経済と景気・財政政策・金融政策・為替相場）			
	7月	"（市場の働き・株式会社の仕組み・企業の社会的責任）		期末	
	8月	"（産業構造と働き方の変化）			
9月	"（流通の変化と小売の工夫）				
後期	10月	政治分野（人権思想の発達と憲法）		中間	17
	11月	"（日本国憲法の三大原則・新しい人権）			
	12月	"（同上）		期末	
	1月	"（三権分立・選挙の仕組みと政党政治・マスコミと世論）			
	2月	"（国家財政・地方自治と地方財政）			
評価の方法					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況などを総合的に判断する。					
備考					

科目	総合社会	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	なし			配当年次	3年次または4年次のどちらか
授業のねらい・概要					
様々な資料を活用しながら、現代社会の内容を復習してさらに理解を深めつつ、政治、経済、文化等の幅広い分野から主要な問題を取り上げ幅広い知識を身につける。					
授業の進め方					
政治、経済、世界情勢などにかかわる問題を、様々な資料をもとにしてプリントを作成し、こうした諸問題の背景や現状などを探りながら今後への展望を考察していく。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	資源・エネルギー問題		中間	17
	5月	"			
	6月	環境問題			
	7月	"		期末	
	8月	国際社会（国際法、国際連盟・連合、冷戦、南北問題、EUの結成など）			
9月	"				
後期	10月	消費者問題（悪徳商法・クレジットカード・消費者金融など）		中間	17
	11月	地域紛争（カシミール問題・パレスチナ問題など）			
	12月	三権（司法・立法・行政）の役割と変化		期末	
	1月	"			
	2月	科学技術の発達と生命（遺伝子治療・尊厳死・安楽死・再生医療など）			
評価の方法					
平常の授業態度（出席状況）・定期考査・課題の提出状況などを総合的に判断する。					
備考					
ニュースを分かりやすく解説する番組がいくつかあるので、できるだけ見ること。					

科目	時事問題	単位数	2	区分	選択
教科書・教材	なし			配当年次	3年次または4年次のどちらか
授業のねらい・概要					
この授業を通して、現在の日本や世界が直面する大切な課題についての考え方や基礎的な知識を身につけることをねらいとする。					
授業の進め方					
授業ごとに用意するプリントを完成させながら、時事問題の重要テーマについて自分なりの意見を持ち、かつ表現する能力を向上させる場を設けたい。それにあたって、現代社会で学んだ内容の確認もおこなう。					
		学習の内容		考查	時数
前期	4月	エネルギー政策の変化		中間	17
	5月	自然災害と風評被害			
	6月	三権分立と選挙権年齢の引き下げ議論			
	7月	個人と社会生活(民法の概要と改正議論・家族形態の多様化)		期末	
	8月	〃			
9月	ネットとメディア・知的財産権・SNSに関わる諸現象				
後期	10月	市場の変化と日本、高齢社会における流通改革		中間	17
	11月	宗教の意義、宗派・教義対立の背景にあるもの			
	12月	〃		期末	
	1月	世界の中の日本の役割、グローバル経済の功罪			
	2月	1年間のまとめ			
評価の方法					
出席状況、提出物、定期試験の結果を総合的に判断。					
備考					

科目	ベーシック社会	単位数	1	区分	選択
教科書・教材	自作教材等			配当年次	4年次
授業のねらい・概要					
中学校段階の地歴・公民の基礎的事項についての理解・定着をはかる。					
授業の進め方					
前年度までに学んだ社会科に関する内容を中心に、毎日1枚プリント学習を行う。					
		学習の内容		まとめ	時数
前期	4月	地理分野の基礎事項		無	40
	5月	地理分野の基礎事項			
	6月	地理分野の基礎事項			
	7月	世界史分野の基礎事項		有	
	8月	世界史分野の基礎事項			
9月	世界史分野の基礎事項				
後期	10月	公民分野の基礎事項		無	38
	11月	公民分野の基礎事項			
	12月	(前半) 公民分野の基礎事項 (後半) 日本史分野の基礎事項		有	
	1月	日本史分野の基礎事項			
	2月	日本史分野の基礎事項			
評価の方法					
毎回の出席・プリント提出状況・期末考查結果を総合的に判断して評価する。					
備考					